

1. 件名：実施計画の審査の進捗状況等に係る面談
2. 日時：令和6年1月31日（水）13時30分～15時15分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

正岡企画調査官、佐藤室長補佐、森審査班長、石井安全審査官、

山下安全審査専門職、元嶋専門職、椎名安全審査官、高橋係員、宮田係員

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当5名（テレビ会議システムによる出席）

廃炉資材調達センター 担当3名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 担当5名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき、以下の説明があった。

- 大型廃棄物保管庫第一棟使用済吸着塔保管架台の設計進捗について
- 特定原子力施設監視・評価検討会の議題について
- 特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合の議題について
- 実施計画変更認可申請の状況及び今後の申請予定について

○原子力規制庁は、上記説明内容について東京電力と認識を共有するとともに、以下のコメントを伝えた。

- 大型廃棄物保管庫第一棟使用済吸着塔保管架台の設計進捗について
  - ✓ 吸着塔架台について、耐震性に係る解析及び評価に時間がかかるため、吸着塔の種類に応じて2回に分けて実施計画変更認可を申請することは承知したが、効率的に審査を進めるため、申請前でも説明できる部分から順次説明すること。
- 特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合の議題について
  - ✓ 除染装置スラッジ移送装置設置について、資料の準備を進め、会合までの時間的余裕を持って面談で説明すること。
  - ✓ また、2号機燃料デブリ試験的取り出しで使用予定のテレスコ式取り出し装置については、第111回特定原子力施設監視・評価検討会において審査上の論点を提示する予定であり、当該論点への回答について今後の技術会合で説明できるように準備を進めること。
- 実施計画変更認可申請の状況及び今後の申請予定について
  - ✓ 今後申請を予定している案件のうち、特に早期の認可を希望する案件については、速やかに申請を行うとともに、原子力規制庁からの指摘に対して迅速に確認・回答を行うこと。

○また、原子力規制庁から、資料に基づき、以下の方針を伝えた。

- ✓ 効果的・効率的に審査を進める観点から、今後の実施計画の施設・設備に係る耐震性の審査に当たっては、施設・設備の耐震クラスに応じて軽重を付けて実施するので、それに応じた実施計画（変更）認可申請書を作成すること。

○東京電力から、上記について了解した旨回答があった。

## 6. 資料

（東京電力資料）

- 大型廃棄物保管庫第一棟使用済吸着塔保管架台の設計進捗について
- 特定原子力施設監視・評価検討会の議題について
- 特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合の議題について
- 実施計画変更認可申請済（審査中）案件及び申請予定案件のスケジュールについて

（原子力規制庁資料）

- 実施計画に記載すべき施設・設備の耐震性に係る説明事項の明確化

以上